

相談員日記

富岡町社会福祉協議会

事業係長 穴倉 秀和 様

富岡町は平成 29 年 4 月に帰還困難区域を除く避難指示が解除されましたが、3 年目となる現在も様々な課題があります。社協では、住民のコミュニティが縮小していることから、住民の方のコミュニティを再構築するサポートとして、サロン等を開催しています。

避難指示解除後の 1 年目は社協内でサロンを行っていましたが、運転免許証のない方、運転に自信がない等の理由で参加者が伸びなかったため、2 年目以降は社協への送迎やこちらから住民の方が暮らす公営復興住宅等に出向くようにしたところ、参加者が増えました。サロンではお茶を飲みながら皆で話をする、ということも大切ですが、それだけに留まらず、様々なメニューを工夫することが必要だと思います。その上で、富岡町に暮らす限り放射線のことについてはついて回ると思うので、サロンの中で放射線について知る機会を作ったりもしています。

例えば、富岡町の水道水を作っている双葉地方水道企業団での見学を通し水の安全性を学んだり、町内で採れた天然キノコ類を、煮る・焼く等の調理加工後に、生の状態と比較し放射性セシウム濃度がどの程度低減するかを町の食品検査所で測定し数値で確かめ、専門家を交え意見交換会を行ったりしました。

食べ物等の身近な題材のためか、参加された皆さんも楽しみながら放射線について学んでいたと思います。

